

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月12日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|---|-------|-------------|
| 事業所番号 | 4271400980 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 南有会 | | |
| 事業所名 | グループホーム望 | | |
| 所在地 | 〒859-2414長崎県南島原市南有馬町丁306-1 (電話) 0957-65-6012 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構 | | |
| 所在地 | 〒855-0801長崎県島原市高島二丁目7217島原商工会議所1階 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年11月7日 | 評価確定日 | 平成20年11月19日 |

【情報提供票より】(平成20年5月10日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | |
|-------|--------|-----------------------------|
| 開設年月日 | 昭和・平成 | 12年 9月 1日 |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 6 人 |
| 職員数 | 9 人 | 常勤 5 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 3.9 人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------|-------|-------|
| 建物構造 | 木造平屋造り | | |
| | 1 階建ての | 1 階 ~ | 1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|---------|----------------|------------|
| 家賃(平均月額) | 9,000 円 | その他の経費 | 光熱水費210円/日 |
| 敷金 | 有(円) | 無 | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | 1日当たり | | 1,000円 |

(4) 利用者の概要(5月 10日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 6 名 | 男性 | 0 名 | 女性 | 6 名 |
| 要介護1 | 2 名 | 要介護2 | 2 名 | | |
| 要介護3 | 1 名 | 要介護4 | 1 名 | | |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 89 歳 | 最低 | 86 歳 | 最高 | 91 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|---------------|
| 協力医療機関名 | 本多南光堂医院・菅歯科医院 |
|---------|---------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム望の建物は、割烹料亭を改築したものである。居室はその時の小部屋を利用されており、居心地の良い雰囲気がある。他にもフローリングの部屋もあり、ベッドを好まれる方にも対応されている。また電気マッサージ機があり、入居者が利用し、リラックスできる工夫がある。外には花壇や、駐車場の近くには余った土地を有効利用した畑があり、収穫の際には入居者の楽しみになっている。近くには雁が戯れる川が流れており、火災などの緊急時には非常に有効である。また入居者も元気な方が多く、家事の手伝いや外出など、積極的に活動され、生き生きとされた表情が印象的である。その方々を支え合う施設長をはじめとする職員全員が柔らかな雰囲気で見守っているグループホームである。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 改善計画シートを用意され、日々ホームが向上するよう取り組まれている。その中で市町村との連携では当ホームの便りを置いていただくように工夫されている。思いや意思の把握においては入居者の会話や表情をよく観察することで、できること、できないことを的確に判断し、出来る事を見極め、その入居者の意思を尊重するように努められている。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 自己評価を施設長や数名の職員が中心となって取り組まれている。その中で意義を深く考えられ、意味ある評価になるよう努められている。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) |
| | 運営推進会議は2ヶ月に1度行われている。参加者は職員・家族代表者・自治会長・地域包括支援センター代表者が参加され、当ホームの出来事や行事予定、次回に話し合う内容が記録され、ホームの質の向上に役立っている。取り組みとしては自己評価を利用して運営推進会議の出席者にアドバイスをいただいたり、介護教室への取り組みについて相談されている。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| | 訪問の際には入居者の病院受診の報告や現状を話し合われている。ホームの玄関に意見箱を設置され、家族からの意見を尋ねる姿勢を示されている。また重要事項説明書にて苦情申し立ての案内を分かり易く表示され、家族からの意見を真摯に受け取めている事がわかる。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| 重点項目 | 地域とのつき合いの重要性を理事長はよく熟知されており、積極的に様々なイベントへの参加や、当ホームで計画されているオカリナ演奏会などを行うことで地元の方々と交流を深めようと考えられている。また買い物や散歩の際に気軽に挨拶を交わすなど、日常的にも触れ合いが行われている。 |

2. 評価結果 (詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|--|---|-------|---|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 南島原市を中心に入居者がこの地域で自分らしくのびのびと暮らすことを目指した理念づくりになっている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 当ホームのある南有馬町と密着して暮らす事を常に考えられており、ホームにこもることなく積極的に外出することで理念の実践に取り組まれている。また子ども達との交流を課題として考えられており、さらなる理念の浸透に努められている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域とのつき合いの重要性を理事長は熟知されており、積極的に様々なイベントへの参加や、当ホームで計画されているオカリナ演奏会などを行うことで地元の方々と交流を深めようと考えられている。また買い物や散歩の際に気軽に挨拶を交わすなど、日常的にも触れ合いが行われている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価を施設長や数名の職員が中心となって取り組まれている。その中で意義を深く考えられ、意味ある評価になるよう努められている。また外部評価にも改善計画シートを用意され、日々ホームが向上するように取り組まれている。 | | |
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は2ヶ月に1度行われている。参加者は職員・家族代表者・自治会長・地域包括支援センター代表者が参加され、ホームの出来事や行事予定、次回に話し合う内容を記録し、質の向上に役立てられている。 | | さらに今後は重要な質疑応答など、会議の内容がわかる議事録を用意され、参加されていない入居者の家族へ報告書を渡すなどの取り組みに期待したい。 |

グループホーム 望

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|---|------|--|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市町村との連携をとるべく、市主催の行事に積極的に参加されている。また今後は介護教室などの取り組みのため、市町村担当者と話し合いが行われている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 金銭管理については、毎月支払いに来ていただく際に出納帳を確認し、サインをいただいている。また訪問の際には入居者の病院受診の報告や現状を話し合われている。不定期ではあるが便りも発行され、日々の楽しそうな様子を伝えられている。 | | |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 当ホームの玄関に意見箱を設置し、家族からの意見を尋ねる姿勢を示されている。また重要事項説明書にて苦情申し立ての案内を分かり易く表示され、家族からの意見を真摯に受け取っていることがわかる。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 開設以来、職員の異動は入居者との馴染みの関係を考えられ、ほとんど行われていない。新人職員を採用する際は、必ずベテラン職員と共に行動するようにし、入居者が無理なく馴染んでいただけるよう工夫されている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 新人を採用する際、経験値に応じた研修を考えられておられる。必要な資格については復命書を用意されている。また他のグループホームへ交換研修として職員の視野を広める取り組みもされている。 | | さらに今後は外部研修に参加した際の資料を研修報告書とともに保管し、職員のより深い学びに繋がれることに期待します。また報告書も研修の項目の記載に止まらず、より具体的な内容の記録と、参加した職員の気づきの記載をされることが望まれる。 |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 施設長は近隣のグループホームのみならず、遠方のグループホームの方と交流をもたれており、悩みや相談事などを気さくに話し合える関係を築かれている。 | | |

グループホーム 望

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|--|--|-----|--|
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>入居を希望される方には気軽に見学していただき、当ホームに馴染めるよう工夫されている。また法人内のデイサービスとの交流の際に、当ホームを気に入られて入居された方もいる。帰宅願望がある入居者への対応として、職員が自宅まで一緒に同行することで、入居者の心の安定を図られている。</p> | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>入居者から日々食事の味付けを習うことで、互いに尊重し合いながら生活されている。また入居者から雑巾縫いやほつれを補修していただき、感謝の言葉を伝えられている。職員も入居者の能力を見極め、本人ができることには手を出さないことで、能力の低下が抑えられている。</p> | | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>入居時に生活歴やアセスメントを採られており、これまでの生活を踏まえたと、現状で望まれている暮らしを尋ねたり、表情から読みとることで暮らしの希望の把握に努めている。アセスメントは3ヶ月に1度、正確な把握をされている。またプランに沿った記録を心がけており、記録用紙にキーワードの欄を用意されている。</p> | | <p>今後はさらに日々の記録により明確な生活歴を、全職員で共有し、よりいっそう入居者との生活を深めていただくことが望まれる。また、キーワードをより具体的に記入することも期待したい。</p> |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>介護計画は入居者本人の希望と家族の希望を元に、のびのびと暮らしていくことを目指し、具体的に計画されている。またアセスメントを細かく採られ、職員の気づきも十分反映されている。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>毎月のケアカンファレンスで入居者の現状をモニタリングし、話し合われている。必要に応じて介護計画を変更することもあり、変更する際は家族の同意をいただいている。</p> | | |

グループホーム 望

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 病院への通院介助や入居者の友人宅へ遊びに行き、交流を図るなど、その時の希望に応じて支援されている。また入居者の家族が宿泊を希望されたときも、対応できるようになっている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 当ホームの協力医が、主治医になっていただくことを家族にも了承していただいている。しかし入居以前のかかりつけ医とも関係を継続し、本人の希望に添うように努められている。また協力医によって毎週の往診、毎月の検診や予防接種を受けることができる。必要に応じて協力医から紹介状を用意していただき、適切な治療を受けることが可能である。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 看取りの指針を用意され、入居者と家族に説明し、同意をいただいている。看取りに関してはまだ経験はないが、何時でも主治医の協力を得ることができ、何時でも対応できるように研修を組まれたり、具体的なマニュアルを用意されるなどの取り組みがある。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 書類などは事務所に保管し、入居者の目に触れないように工夫されている。また入居者同士の相性もよく考えられており、言い合いが強くなる前にさり気なく対応されている。帰宅願望のある入居者には職員が統一した声掛けをされることで、混乱を防がれている。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者の個々の趣味や能力に応じて花を生けていただいたり、畑を耕していただくなど、個々の希望に添うよう努められている。また、どうすれば毎日を満足していただけるのかを常に考えながら、入居者一人ひとりの希望を尋ねられている。 | | |

グループホーム 望

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|--|---|-----|---|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 入居者と一緒に職員も同じ食事をとることで楽しい食事の雰囲気をつくられている。また調理や配膳、自分で茶碗にご飯をよそっていただくなど、個々の力を活かしながら支援されている。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 毎日入浴が可能である。入浴を拒否される方には部分浴などで対応されている。また自分で清拭ができる方には自分でしていただき、自信の向上に繋がられている。時には入居者と温泉に出かけることで、入浴を楽しむ支援が行われている。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 花を生けることが好きな方にはホームで飾っていただき、畑でできた野菜などを収穫する際には手伝っていただくなど、楽しんで生活できるように支援している。またホームで飼っているメダカの餌やりなど、自分の役割としてやる気を出しながら暮らされている姿が見受けられた。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | ほぼ毎日のようにドライブや買い物などで外出されていて、入居者も外に出られるのを楽しみにされている。温泉や近くの湧き水のところまで水汲みに出かけ、そこで集まる地域の方々との交流を楽しまれている。足の不自由な方にはホームの近くを車椅子で散歩するなど、ホームに閉じこもらない支援をされている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 当ホームは日中鍵をかけることはなく、自由に入居することができる。また帰宅願望がある入居者には、さりげない声かけや、そっとついていくなどの支援をされている。玄関では、チャイムを利用して、出入りの確認をされている。 | | |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 当ホーム独自とする火災に対する避難訓練と、地域の方と一緒にする避難訓練が年2回行われている。その際の避難経路や避難研修の記録・反省文・写真などもとられている。また近くの川から消防車の水源を用意できることも確認できた。 | | さらに今後は火災に止まらず、地震や風水害に対する避難訓練などを意識され、備蓄や避難時に持ち出すものの把握など、ライフラインの確保をよりいっそう強化されることに期待したい。 |

グループホーム 望

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|--|---|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分量は基本的に1日1,000 m と考えられており、また入居者の体調に応じて変動されている。また食事のバランスも法人内の栄養士に相談されるなどの支援がされている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関の先に日向ぼっこができるようにイスを用意されており、車椅子対応の広いトイレもある。また畳の居間にはソファがあり、入居者が仲良く座られて職員と楽しい談笑をされていた。浴室も家庭的なもので、落ち着く広さである。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室は花瓶や家族の写真が飾られており、一人ひとりの部屋として工夫されている。また入居者の自宅が近いので、衣類などは、すぐに家族が季節ごとにタンスの中から入れ替えてくれるため、荷物が溢れることなく、過ごしやすい居室となっている。 | | |